

## 土佐清水メジカ産業クラスター

### 背景

- ◆土佐清水市はソウダガツオ類の漁獲量全国一 4,367t(H26)農林統計
- ◆江戸時代から鯉節類の製造が続いており地域の伝統産業として根付く
- ◆現在主力となっている宗田節は高品質で業界内での評価が高い
- ◆メジカ関連産業は市の中核産業で多くの人々が関与

### メジカ加工施設を核とした水産クラスターの形成

- 冷凍保管施設の整備と一元的原魚調達窓口の構築
- 共同煮熟施設整備と協業化等による人手不足への対応
- 新たな残さい処理施設の整備と効果的運用
- 新たな市場開拓のための消費者向け商品開発とプロモーションの継続

節納屋の経営安定  
↓  
メジカ関連産業  
の維持・拡大

## 宿毛湾養殖クラスター

### 背景

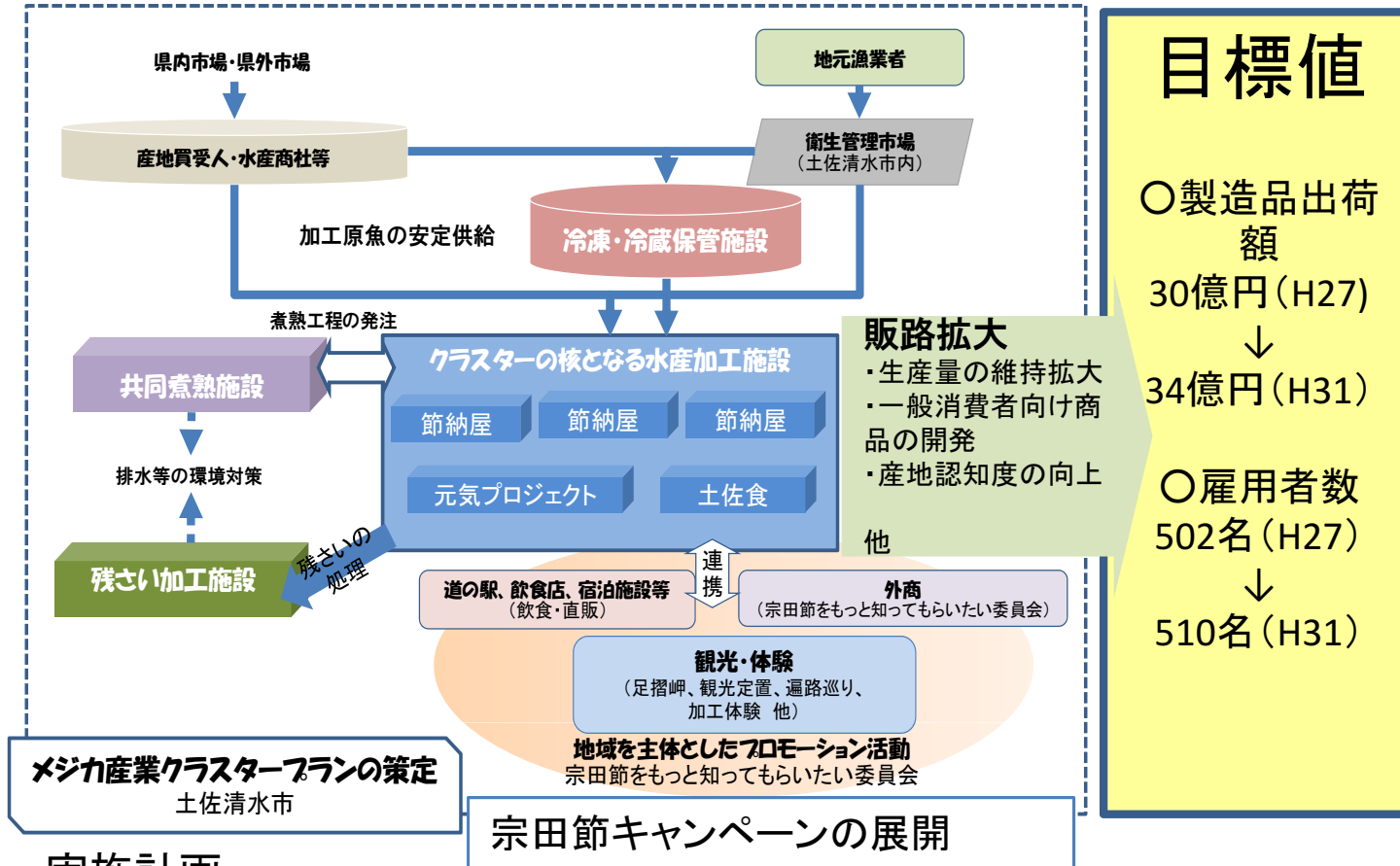
- ◆高知県は全国有数の養殖産地で宿毛湾はその中心  
養殖生産量(H26年農林統計):クロマグロ4位(1,381t)、ブリ5位(7,870t)、マダイ3位(4,621t)
- ◆産振補助金等の支援で宿毛湾で複数の加工施設が整備され養殖魚の前処理加工が本格化  
夏旨ブリの出荷(H26:約4万尾⇒H27:約7万尾)
- ◆国内市場の縮小を見据えた海外市場の開拓(H28.3高知県養殖魚輸出促進協議会が発足)
- ◆クロマグロ等の人工種苗生産技術が確立され事業レベルでの供給開始(H29 予定)

### 養殖魚の加工施設を核とした水産クラスターの形成

- 輸出を含めた幅広いニーズに対応した加工施設の整備(HACCP対応)
- クラスター内の事業者が広く活用できる冷凍保管施設の整備と活用
- 人工種苗生産施設の整備による人工種苗の安定供給
- 産地としての認知度を高めるためのプロモーション(養殖マグロ等)

養殖加工による  
拡大再生産

## クラスターイメージ

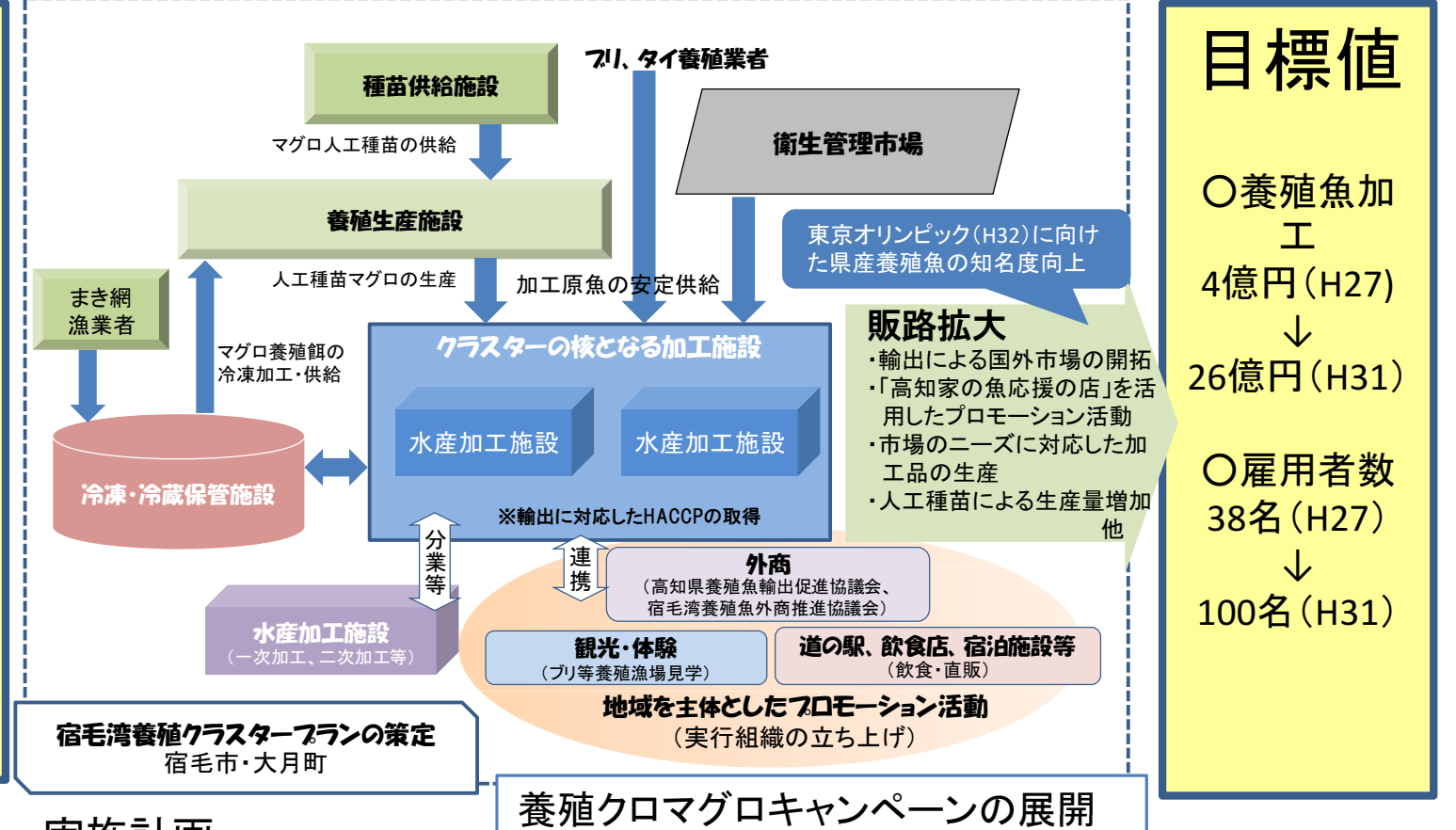


### 目標値

○製造品出荷額  
30億円(H27)  
↓  
34億円(H31)

○雇用者数  
502名(H27)  
↓  
510名(H31)

## クラスターイメージ



### 目標値

○養殖魚加工  
4億円(H27)  
↓  
26億円(H31)

○雇用者数  
38名(H27)  
↓  
100名(H31)

## 実施計画

	H29	H30	H31	H32	H33
冷凍保管施設	整備			稼働	
共同煮熟施設		整備		稼働	
残さい処理施設			整備		稼働
観光や飲食店等と連動した宗田節キャンペーンの展開	地域を主体とした宗田節キャンペーン(宗田節ロードほか)				

## 実施計画

	H29	H30	H31	H32	H33
加工施設【HACCP対応】及びその関連施設	整備			稼働	
クロマグロ人工種苗の供給			供給		
観光や飲食店等と連動した養殖マグロキャンペーンの展開	養殖マグロキャンペーン		人工種苗養殖マグロキャンペーン		